

創立第六十四年

大正十一年

四月

大正十一年度動員計畫於當隊戰時編制ヲ  
変更セラル結果左記ノ通り從來保管係ル兵  
器ヲ返納及發送ス

左記

第十二師團兵器部ニ返納セシモノ

- 1. 三十年式乘馬具 (除鞍轡) 五
- 2. 三十年式軍刀 九
- 3. 全戰時見習士官用 二
- 4. 三十年式銃劍 劍 八三三
- 5. 全革具 四三六
- 6. 三八式騎銃 (除彈藥盒) 五七

〃三八式騎銃 携帶豫備品 三三  
〃刀剣 附 刃 器 八

第六師團兵器部 發送セシモノ

〃三八式騎銃 (除彈糸盒) 一七〇

第十八師團兵器部 發送セシモノ

〃三八式騎銃 (除彈糸盒) 一〇〇

台湾軍兵器部 發送セシモノ

〃携行銃工具 一

八月

大正十一年七月二十八日軍令陸乙第十二號ヲ以テ  
陸軍平時編制改正ノ結果左ノ如キ変更  
アリ

一三々中隊ヲニヶ中隊ニ減シ第三中隊ヲ下関重砲兵聯隊ニ轉屬

ニ大隊本部中少佐一、大(連)尉ニ武器裁タル軍

曹一減シ大尉一、上等上長一ヲ増加ス

三ニ中隊ヲ合シ特務曹長ニ曹長ニ軍曹長ニ

上等兵六(内上等兵ニシテ)一、二等卒三〇名増加

以轉屬第三中隊人員及期日左ノ如シ

人員

中隊長 砲兵大尉 西城良吾

附 中尉 石黒豊治

特務曹長 江藤昇三

下 八 名 藤田助

下 名

上等兵

一、二等卒

上等看護卒

一、八名 (以長勤勞  
上等兵三人含)

一、四名

一名

2. 轉屬期日

八月二十八日 高浜出港

八月二十九日 下関着

五、三八式十加四門重砲觀測具二第十二師團

兵器部込納

十一月

一、三八式機関銃三挺、兵器部込納、三年式機

関銃三挺、度領

十二月

一、第十二師團兵器部込納、主車兵器左

一 如之  
 一 四五式十五加一門  
 二 同右運搬車  
 三 重砲運材車一  
 六 同石受鎖七兵器左加之  
 一 四五式二十四榴一門  
 二 同右運搬車  
 三 土工器具車一  
 四 力作器具車一





大正十一年將校同相當官准士官職員表

転出

出

転入

月日 転出先 職官 氏 名 月日 転入先 職官 氏 名

八月十日 待命 砲兵少佐 小山安吉

永興湯里 盛司 砲兵中尉 坂元林兵衛

八月十九日 下関重砲隊隊長 砲兵大尉 西城良吉

砲兵中尉 石黒豊吉

江頭昂三

大正十一年將校同相當官准士官轉職

九月

命

課

官

氏

名

九月 砲兵職補給知重 砲兵大隊附

砲兵大尉 官崎則美

砲兵職補給知重 砲兵大隊中隊長

樞小徳之助

大正十一年未職員表

大隊 水部 第一中隊 第二中隊

大隊長 藤沼章六 中隊長 山田耕一 全上 榎本徳之助

中佐 稻葉盛 附大尉 江口太郎 全上 齋藤正信

附少佐 高橋三郎 附大尉 樋口正雄 全上 中馬関哉

大尉 宮崎則美 附大尉 藤产敏雄 少尉 財前利策

一等兵 小山源八郎 特務曹長 三宅信吉 全上 浅川満次郎

二等兵 佐藤日出生

砲臺長 福元福次郎